

令和5年度 学校関係者評価委員会

第2回 委員会議事録

令和6年3月26日

委員：	谷一 勝信	(七尾市役所 健康福祉部福祉課 課長)
	津田 博美	(社会福祉法人 七尾市社会福祉協議会 会長)
	畑中 幸枝	(在学生保護者・後援会 会長)
	岩島 誠	(公立能登総合病院 理学卒業生)
	沖崎 孝裕	(市立輪島病院 作学卒業生)
	皆川 直樹	(津幡町消防署 救命卒業生)
	村田 敏子	(特別養護老人ホーム 鹿寿苑 介護卒業生)
	由久保 弘明	(国際医療福祉専門学校七尾校 学校長)
	石毛 巖	(国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科)
	花田 邦和	(国際医療福祉専門学校七尾校 救急救命学科)
	花田 真維子	(国際医療福祉専門学校七尾校 介護福祉学科)

議事内容

1. 学校行事および取り組み活動・成果報告
2. 各学科の報告について
3. 学生募集と成果 (令和6年度入学見込み者数など)

1. 学校行事および取り組み活動・成果報告

5月よりコロナが感染症2類から5類へ移行したものの、昨年度と同様に中止・変更となった行事や活動内容は次のとおりである。また、令和6年1月1日の能登半島地震地震による被災により変更した内容は下線で表記してあります。

- ① 1年次および2年次の保護者オリエンテーション 5月
対面型 ⇒ 電話およびオンライン面談へ変更し実施
- ② 県内の各種専門学校が一同に集まったの球技大会の中止 6月
- ③ 介護施設等におけるボランティア活動の中止 7～9月
- ④ 認知症カフェへの参加中止 7～9月
- ⑤ 学校祭は規模を縮小して実施 10月
- ⑥ 後期定期試験1月→3月後半で実施
- ⑦ 後期国家試験対策→オンライン講義で実施
- ⑧ 臨床実習前の対策セミナー→オンライン講義で実施
- ⑨ 卒業式は全員参列で実施

なお、講義及び学内における実習系は感染対策を十分に行った状況下で通常通り実施した。また、濃厚接触者対応や大雪などの天候不良時により登校が制限された学生に対してはオンラインでの対応を行い、欠席とならないよう配慮し実施した。

2. 各学科の報告について

【理学療法学科】

① 各学年の在籍者数（4月時点）と進級予定者数（3月時点）／卒業生数について

	在籍者数（4月時点）	進級予定者（3月時点）
1年生	23名（2名退学、1名休学） *退学・休学の3名は学業不振によるもの。基礎学力や社会性が低いことが理由	20名
2年生	20名（留年1名含む）	19名進級、1名2年次留年
3年生	12名	12名（卒業生）
総数	55名	

② 国家試験自己採点結果による合格見込数と就職内定状況について

受験者数 12名（今年度は未受験者無し：出願判定試験の基準を満たさなかった場合）

合格見込数 10名／12名 【83.3%】

就職内定状況 11名／12名 【91.6%】

*合格見込者10名全員就職内定

*合格見込困難な2名のうち1名は就職内定を貰っていた為、先方に連絡し、その後の対応待ち、残り1名は科目等履修生となる予定

今年度は1月の震災により国家試験対策のほとんどが遠隔授業となった。全国模試については3回、登校日を設定して実施した。例年通りの内容で実地問題対策にかける時間数を確保し、実施した結果、得点率の平均が約70%（200点／280点）であり、一定の効果があったと思われる。しかしながら、合格見込困難な学生については実地問題の得点率約60%であったが、基礎分野の得点率が50%台と低く、基礎固めが改めて重要であること再認識させられた。臨床における意思決定を必要とする想定問題が多くなっており、今後は臨床実習において現場で行われている科学的根拠に基づく臨床判断能力を高める教育が必要である。また、例年通り Out put する機会を多くして

対策は継続する必要がある、在学生の1年生・2年生には、臨床推論を中心とした考えを Out put する環境を学内でいかにして提供し、問題解決能力をアップさせる指導が引き続き必要である。

③ 臨床実習関連

- ・臨床実習指導者会議は昨年度と同様にオンラインによる開催
- ・3年生の総合臨床実習（8週間を2回）は4月～10月の期間に計画通り実施
- ・冬季の2年次臨床評価実習（4週間）は震災の影響により、能登地区中心とした実習配置施設の受け入れが困難となり、20名中7名のみ実習を実施し、残りは学内実習で対応した。
- ・1年次臨床見学実習（1週間）においても同様であり、20名中12名のみ実習を実施し、残りは学内実習で対応した。

【救急救命学科】

① 各学年の在籍者数と進級予定者数／卒業生数について

1年生：在籍者数	9名
進級予定者数	9名
2年生：在籍者数	13名
進級予定者数	13名
3年生：在籍者数	16名
卒業生数	16名

② 国家試験自己採点結果による合格見込数と就職内定状況について

受験者数	16名
合格見込数	16名／16名（100%）
就職内定状況	14名／16名（87.5%）

*5月～7月にかけて公務員対策講座として東京アカデミーに講師依頼をして実施した。公務員試験の勉強だけではなく、体力錬成も視野にいれての指導も充実さ

せたいと考えている。

* 救急救命士国家試験対策として今年度はグループ学習を取り入れて実施した。その他、集中講義を数回実施、基礎知識を確認するための穴埋め問題資料を作成し、追い込み資料として配付して対応した。今後の対策として3年次前期からも国家試験を意識した講義や小テストの実施、模擬試験等をおこなうことで強化していきたいと考える。

③ 主な校外活動内容

- ・ 金沢マラソン（救護班、AED隊）として参加
- ・ 西日本学生選手権

④ 臨地実習関連 * 実施例年通り実施

【介護福祉学科】

① 各学年の在籍者数と進級予定者数／卒業生数について

2年生：在籍者数	5名
卒業生数	5名

② 国家試験自己採点結果による合格見込数と就職内定状況について

受験者数	4名
合格見込数	4名／4名 (100.0%)
就職内定状況	2名／5名 (40.0%)

令和6年能登半島地震による影響にて、施設側の試験日程の調整中にて就職試験を受けることができていない学生と、被災が大きな地域にて避難中のこともあり就職活動ができていない学生がいることから、現時点での就職内定者が少なくなっている。

③ 実習関連、授産施設への見学および交流、施設見学

実習は、コロナの影響で学生の感染や施設側の感染などがあり、実習中断や停止は見られたものの、全学生が実習を終了することができた。実習開始前のコ

ロナ感染の陰性証明書持参や、実習中の定期検査が必要な施設もあり対応。

④ 募集停止

今年度の卒業生が最後となり、当面の間募集停止となる。

⑤ 新カリキュラム対応

国家試験問題が新カリキュラム対応の試験問題となり、今年度で2回目。基本を抑えた内容となっている。

3. 学生募集と成果（令和6年度入学見込み者数など）

☆学生募集と成果

【入学見込み者数】

2024年度入学者見込み数（PT：16名 EMT：6名 計：22名）

2023年度入学者数（PT：23名 EMT：9名 計：32名）

高校訪問については資料請求者等を中心に行った。

高校訪問エリアを石川県と富山県を中心に、入学実績のある福井県、滋賀県、長野県、岐阜県も訪問していくこととする。

ガイダンスについてはリクルートを中心に募集活動を行う方針であったが、さんぼう、ライセンスアカデミーのガイダンスも徐々に入れていった。

【高校ガイダンスと学校説明会】

今年度より、高校ガイダンスについては昨年度より積極的に参加する方針となり、さんぼうだけではなく、ライセンスアカデミーのガイダンスにも参加したが、入学者数の増加に至っていないのが現状である。

【来年度の方針】

リクルートを中心とした資料請求者のフォローアップを中心に、さんぽう及びライセンスアカデミーが企画するガイダンスに積極的に参加し、学生募集を行っていく。

<その他>

震災によりボランティア団体の受入れを社協と調整し実施しました。

その他、学校施設を利用したボランティア活動を実施しました。

内容：憩いサロンの開設 対象：地域住民の皆様

(お茶飲み場、仮設シャワー、仮設トイレ、体育館の開放など)

ボランティア団体の受入れ(国土館大学の大学生) 宿泊は本校体育館

2月19日(月)～23日 15名

2月27日(火)～3月2日 20名

3月4日(月)～7日(木) 40名

*和倉石崎地区の片付けを中心に活動

避難所に訪問してのストレッチ指導(本校教員の理学療法士)

学童スポーツクラブへの体育館貸出(夜間帯)

以上